

# 野洲市MIZBEステーション かわまちづくり実行委員会について

# 1. 野洲川MIZBEステーションの目指すところ

## 野洲市総合計画

基本姿勢

### 協働のまちづくり

市民を中心として、行政や事業者、自治会等各主体とまちづくりの目標を共有しながら、お互いを尊重し、信頼し、協力し合う「協働」によるまちづくりを進めます。

### SDGsの実現

将来にわたって持続可能なまちを築いていくという横断的な視点のもと、総合計画の各分野において、SDGsとのつながりを意識しながらまちづくりを進めます。

## 滋賀県立高等専門学校 基本構想2.1

好循環の形成

高度専門人材の育成  
→ 地域や産業への技術実装  
→ 子どもたちの技術への関心と憧れの涵養

教育・研究拠点

産業界をはじめとした様々な機関が連携する「共創」と、そのつながりを通じた挑戦



## 野洲市 MIZBEステーション かわまちづくり計画

- (1) 地域資源を活用した観光振興を促進
- (2) 激甚化する台風等の自然災害への対応
- (3) 自然とふれあえる空間の整備
- (4) 人材の育成支援促進

## 野洲川MIZBEステーションの目指すところ

# 市民とともにつくる、人と自然の好循環を育む『学び』の拠点

### ① 出会い

野洲川と多様な人に出会い学ぶ

- ・ 市民と野洲川との接点となる場所
- ・ 市民同士の出会い・交流・賑わいを通し学び合う場所
- ・ 外の人野洲を訪れ、野洲を知る、野洲の人・自然と交流・楽しみ・学びを得る場所

### ② 自然

野洲川の自然に学ぶ

- ・ 川と森の自然を体感し、学び、育む場所
- ・ 自然・環境・生物などの市民活動の拠点となり人材育成、学び合う場所

### ③ 防災

自然の営みと防災を学ぶ

- ・ 森の管理、川の安全・安心、身近な防災を学ぶ場所
- ・ 河川防災ステーション・地域の防災教育拠点

野洲川MIZBEステーションができることで  
野洲市・野洲川をもっと好きになる

## 2. (仮称) 野洲市MIZBEステーションかわまちづくり実行委員会の位置づけ

### 野洲市MIZBEステーション かわまちづくり協議会

地域の様々な主体と協働して、「かわ」と「まち」とが一体となった魅力的な水辺空間を形成し、新たな人の流れとにぎわいを創出する「かわまちづくり」について協議するとともに、地域活性化の拠点となるMIZBEステーション(河川防災ステーション)の利活用方法等について検討することを目的として、令和5年11月に、野洲市MIZBEステーションかわまちづくり協議会を設置。

メンバー： 野洲市長  
国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所長  
滋賀県総合企画部管理監  
滋賀県土木交通部南部土木事務所長  
野洲市自治連合会北野学区自治連合会長  
野洲市商工会長  
野洲市観光物産協会会長

### (仮称) 野洲市MIZBEステーション かわまちづくり実行委員会

「かわまちづくり」の具体的な検討・提案を行うため、協議会の下部組織として「(仮称)野洲市MIZBEステーションかわまちづくり実行委員会」を設置予定。

メンバー： 野洲市民・団体等の有志 【10名程度を予定】  
(事務局より依頼)  
関係行政機関： 野洲市都市建設部  
野洲市政策調整部  
琵琶湖河川事務所  
滋賀県※高専関係

説明

意見

野洲市 (議会)

野洲市民

### 3. (仮称) 野洲市MIZBEステーションかわまちづくり実行委員会の役割と進め方

#### 1) 役割

- 野洲市MIZBEステーションかわまちづくり協議会の下部組織として、野洲市市民・団体を代表して、野洲川MIZBEステーションのあり方の具体的な検討を行います。
- 具体的な検討の内容
  - ① 野洲川MIZBEステーションの将来の方向性の試行・検証のための、社会実験イベントの企画・検討
  - ② みんなの想いをのせた「運営方針」の検討  
※次ページの事例 参照

#### 2) 進め方(予定)

##### 1. キックオフ

時期：R7.2～3月

- ・ メンバー紹介・メンバーの興味関心の共有
- ・ 市民意向・庁内PT議論の共有
- ・ MIZBEステーションの機能・役割の検討
- ・ 社会実験イベントの方向性について検討

##### 2. 社会実験イベント企画 + 運営方針骨子

時期：R7.3～4月

- ・ やってみたいを実現する社会実験イベント企画
- ・ 運営方針のフレーム検討
- ・ 施設機能・役割の精査

みんなのやってみたいを集めた  
実験イベントの開催(R7.5～6月予定)

##### 3. 社会実験イベント振り返り + 運営方針検討

時期：R7.5～6月

- ・ 社会実験イベント振り返り
- ・ 運営方針の検討

##### 4. 運営方針 取りまとめ

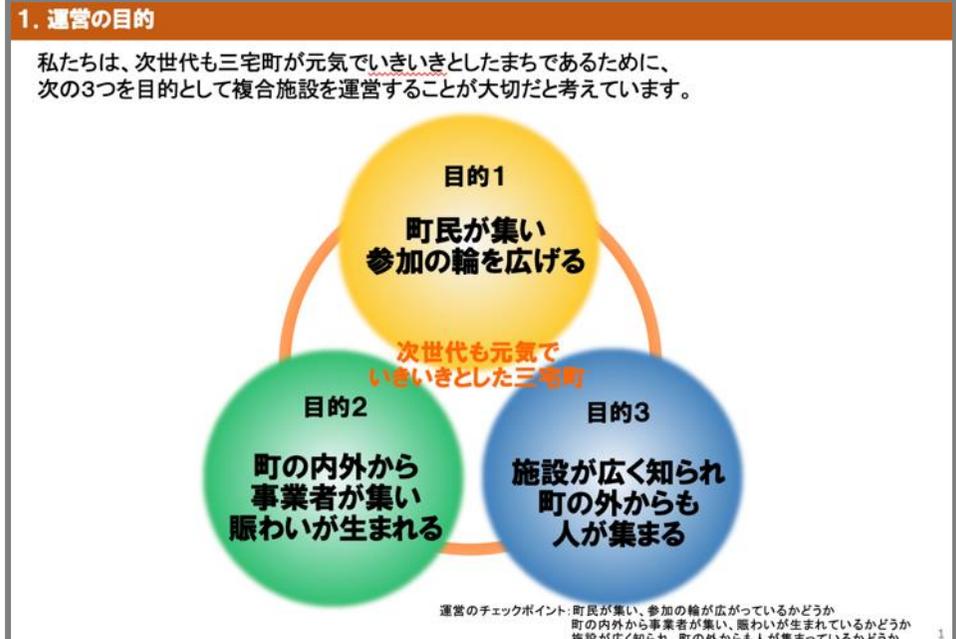
時期：R7.7～8月

- ・ 運営方針(案)を元に最終精査
- ・ 具体的な取り組みの検討  
(年間スケジュール等)

みんなの想いをのせた  
「運営方針」の取りまとめ(R7.7-8月)

# 4. 事例（運営方針のイメージ）

運営方針とは、設計基準や運営要求水準書等では表せない、市民視点での運営上大切なポイント等を取りまとめたもの。民間事業者公募の参考資料等にすることで、市民の想いを汲んだ提案が期待できる。



## 2. ソフト・運営上大切にしたい6つのポイント

複合施設の将来像を実現するために、ソフトや運営上で大切なことは、次の6つのポイントです。

複合施設の将来像

多世代がつながり 地域の魅力が創出される 町民ひとりひとりの居場所

三宅町複合施設の将来像の実現にむけて、運営上大切にしたい6つのポイント

- ①いつも開いている**
  - 平日・休日ともに開いている
  - 朝から夜まで開いている (朝は8:00頃～モーニングができて、夜は21:00頃まで仕事もできる)
- ②定期的・継続的に活動が行われている**
  - 毎週末など定期的に活動を展開する (マルシェ、フリーマーケット、野菜市など)
  - 小さくても長く続けられる活動を継続的に展開する
- ③いろんな世代の楽しみがある**
  - いろんな世代がそれぞれの感性で楽しめるものがある (お年寄りに人気の講座、子どもに人気の体験など)
  - 時間帯・曜日によって使い方が変わる (朝や平日はお年寄りが健康づくりに使う、夜は仕事帰りの人が休憩する、休日は子どもや親が集まるなど)
- ④まちの情報が集まっている**
  - WEBや紙媒体などにまちの情報を一元化する (今月のイベント、お知らせ、予約情報、各々の公民館で行われているプログラム情報など)
  - 情報が届くように工夫する (デザインのいいチラシを広報誌にのせる、WEB情報をプリントして壁新聞にするなど)
  - 予約はネットと窓口で対応し、幅広い世代にとって使いやすくなる
- ⑤まちの人・団体がネットワークしている**
  - 地域の大人が得意分野を活かした教室を開く (工作教室や料理教室)
  - ボランティアの活動の場を広げる
  - 字ごとの活動を町全体に広げる
  - 既存団体の情報共有や交流の場にとつとつ
- ⑥子どもがもっと三宅町を好きになる**
  - オープンするまでも、オープンした後も、子どもたちが関わる仕掛けをつくる

## 3. ハード・空間を設計する上で大切にしたい6つのポイント

複合施設の将来像を実現するために、ハードや設計上で大切なことは、次の6つのポイントです。

複合施設の将来像

多世代がつながり 地域の魅力が創出される 町民ひとりひとりの居場所

三宅町複合施設の将来像の実現にむけて、設計上大切にしたい6つのポイント

- ①使い方によって自由にスペースを变形できる**
  - 広々とした空間を自由に仕切って使うことができる
  - 環境の変化に対応できる (暑さ、寒さ、雨天など)
- ②開放的で行き来しやすい**
  - 施設の外から、気軽に入りやすい
  - 施設の中に、仕切りがない
- ③いろんな活動の拡がりを支える設備がある**
  - もっと町民が交流できる
  - もっと本に親しめる
  - もっと仕事がしやすくなる
  - もっと産業・農業について知れる
  - もっと町民の活動がさかんになる
  - もっと屋外で活動しやすくなる
  - もっと子どもが元気に遊べる
  - もっと健康になれる
- ④まちの人と出会う場がある**
  - 三宅町の様々な人と知り合える (生産者、観光ガイド、など)
  - コーディネーターがいる (三宅町内、町外との交流)
  - 子育て世代が集まりやすい場である
- ⑤居心地がいい**
  - ええ感じのソファがある
  - ちょっとお茶ができる
  - 気軽に休憩できる
- ⑥地域の魅力を創出するデザイン**
  - デザインに革を取り入れる
  - 古墳を見る展望スペースをつくる
  - 広場を中心とした一体的な景観をつくる
  - 空から見た形も意識する

# 5. 社会実験イベントの方向性 (案)

- 多様な参画のあり方と各種事業の実現性について検証する機会として、イベントを実験・実践の場に位置付け、地域住民や民間事業者の「やってみたい」を集め、「野洲川MIZBEステーションの方向性」を体感できる社会実験イベントとします。
- 野洲川MIZBEステーションのキックオフとして、市民有志と野洲市との協働で企画を検討し、市民・事業者・関係部署等の多様な参画を実践する機会とし、みんなの野洲川MIZBEステーションとして育てていくためのきっかけづくりとして社会実験イベントを開催します。
- 本社会実験の各種コンテンツを通して、野洲川MIZBEステーションの持続的な運営や維持管理を実施するうえでの課題や改善点を検証します。

## 社会実験イベントのコンセプトと参画・検証の整理

社会実験イベントの  
コンセプト (案)

野洲・野洲川の魅力、“やってみたい”、みんなの力を集結し  
野洲・野洲川の魅力を学び・体感する社会実験イベント

Gatheringとは  
集会、集合、集める (収集・採集) こと

### (仮) 野洲 MIZBE Gathering 2025

